

『プリズン・サークル』劇場公開プレ企画全国ツアー

特別試写と
シンポジウム

映画『プリズン・サークル』から考える 暴力の連鎖 | コミュニティ | メディア

映画の舞台となった刑務所「島根あさひ社会復帰促進センター」では、「回復(治療)共同体」(Therapeutic Community 略してTC)と呼ばれるアプローチが導入されています。そのモデルとなった米国の先駆的TCアミティ(Amity)から創設者2人を招き、全国4箇所(東京、大阪、札幌、那覇)で、特別試写会と関連イベント(パネルディスカッションやワークショップ)を行います。過熱する犯罪報道や、排除傾向が強まる社会のなかで、映画『プリズン・サークル』やパネリストらの語りを通して、暴力への向き合い方について、一緒に考えてみませんか?

PART I | 特別試写 映画『プリズン・サークル』

日本国内の刑務所に2年間カメラを入れた、初のドキュメンタリー映画『プリズン・サークル』(136分)の特別試写会を行います。「Lifers ライファーズ 終身刑を超えて」「トークバック 沈黙を破る女たち」に引き続き、坂上香監督による劇場公開3作目となる本映画は、取材許可6年、撮影2年、編集2年余りと10年に渡る渾身の作品です。今回は、一部砂絵アニメを取り入れた、アニメーション・ドキュメンタリーに挑戦。

監督&プロデューサー | 坂上香 製作 | out of frame

尺 | 136分 製作年 | 2019 配給 | 東風



PART II | シンポジウム

本映画を制作する背景や過程について監督から、TC的発想や40年近くにわたる活動に関しては、「アミティ」の創始者であるお二人にお話をうかがいます。その後、「プリズン・サークル」が捉えた刑務所における新しい取り組みと共に、札幌刑務支所(女子刑務所)で始まろうとしている「女子依存症回復支援センター」が目指すことなどを交え、犯罪者を生み出す社会の問題という視点から語り合います。

■ パネリスト |

坂上香(映画監督/out of frame代表)…90年代以降、傷と共に生きることや、暴力の連鎖を断ち切る方法についての映像を作り続けている。本映画の監督・プロデューサー。

ナヤ・アービター(Amity Foundation)…アリゾナを拠点にする更生施設アミティの創設者の1人で、常に社会やコミュニティの現状に合ったカリキュラムを作り続けている。

ロッド・ムレン(Amity Foundation)…アミティ代表、公民権運動や反戦活動に関わり、アービターと共にアミティを創設した。日本の刑務所におけるTCの導入や研修にも深く関わってきた。

■ 司会

大嶋 栄子(特定非営利活動法人リカバリー代表)…様々な被害体験を背景に持つ女性の支援をおこなうNPOを主宰、暴力の連鎖とアディクション問題の関係について実践と研究をおこなう。



PART I 特別試写『プリズンサークル』

2019年9月30日(月) 18:30~21:00

会場 | 札幌エルプラザ(北8西3) エルプラザホール

資料代 | 1000円 定員 | 250名

PART II シンポジウム(日本語逐次通訳あり)

2019年10月1日(火) 10:00~12:00

会場 | 札幌エルプラザ(北8西3) 大研修室

参加費 | 1000円 定員 | 90名

*共に事前申込必須

①次の内容を入れてメールでお申し込みください。メール recovery@phoenix-c.or.jp

氏名・参加される催し(試写会・シンポジウム・両方)・連絡先(電話)

複数で申し込まれる場合には、代表者のお名前、催しと参加人数、連絡先

*事務局より、「受付終了」の返信をいたします。返信がない場合には、恐れ入りますが再度お問い合わせください。

なお返信には2~3日を要する場合がございますので、ご了承ください。

②メール環境がない場合には、①と同じ内容をFAXで送信ください。FAX (011)374-6041

③定員に達した状況で締め切りとさせていただきます。キャンセルの場合には他の方の入場を受け付けることが出来ますので、お知らせください。

④入場料および参加費は当日、受付にてお支払いください。また「領収書」が必要な方はあらかじめ申し込みの際にお知らせ願います。

札幌エルプラザ
アクセスマップ

